

## ○学位:学士(学術)

### ・グローバル文化学科

神戸大学のカリキュラム・ポリシーにもとづき、国際人間科学部グローバル文化学科は以下の方針に則りカリキュラムを編成する。

1. 「人間性」「創造性」「国際性」を学生に身につけさせるため、すべての学生が履修する共通の科目として、基礎教養科目、総合教養科目、高度教養科目、外国語科目、初年次セミナー、キャリア科目、情報科目、健康・スポーツ科目及びその他必要と認める科目を開設する。
2. 深い学識を涵養し、「専門性」を学生に身につけさせるため、以下の専門科目を開設する(共通専門基礎科目及び学部が開設する高度教養科目を含む)。
  - ・グローバルイシューに対する批判的・合理的思考力や人々と協働できるリーダーシップ、外国語や ICT を使いこなすコミュニケーション能力と情報を収集し分析する能力を身につけることができるよう学部共通基礎科目を開設する。
  - ・グローバルイシューを構成する諸課題を発見するため、多様な情報を収集し分析する能力、外国語や ICT を一層自在に駆使するコミュニケーション能力を身につけることができる学部共通発展科目を開設する。
  - ・グローバルイシューの解決に向けて他者と協働しつつリーダーシップを発揮する行動力を身につけることができるグローバル・スタディーズ・プログラム科目を開設する。
  - ・グローバルイシューを異文化理解の観点から理解するために必要な基礎的知識及び外国語のコミュニケーション能力を身につけることができる学科共通科目を開設する。
  - ・グローバル文化形成、グローバル社会動態、グローバル・コミュニケーションに関する中核的な知識と専門的能力を身につけることができる学科コア 科目を開設する。
  - ・グローバル文化形成、グローバル社会動態、グローバル・コミュニケーションに関する発展的な知識と専門的能力を身につけることができる学科展開科目を開設する。

なお、これらの科目を実施するに当たり、講義、演習、実習等の授業形態に応じて、アクティブラーニングや体験型学修を適宜組み込み、少人数対話型教育を積極的に推進する。また、グローバル・スタディーズ・プログラムでは、海外研修とフィールド学修を組み合わせる。

学修成果の評価は、次の方法で行う。

- ・講義科目については、筆記試験、レポート、参加度等により、学修目標に即して多面的、包括的な方法で到達度を判定する。
- ・演習、実習科目等については、筆記試験、レポート、参加度、発表内容、実技等により、学修目標に即して多面的、包括的な方法で到達度を判定する。

## ・発達コミュニティ学科

神戸大学のカリキュラム・ポリシーにもとづき、国際人間科学部発達コミュニティ学科は以下の方針に則りカリキュラムを編成する。

1. 「人間性」「創造性」「国際性」を学生に身につけさせるため、すべての学生が履修する共通の科目として、基礎教養科目、総合教養科目、高度教養科目、外国語科目、初年次セミナー、キャリア科目、情報科目、健康・スポーツ科目及びその他必要と認める科目を開設する。
2. 深い学識を涵養し、「専門性」を学生に身につけさせるため、以下の専門科目を開設する(共通専門基礎科目及び学部が開設する高度教養科目を含む)。
  - ・グローバルイシューに対する批判的・合理的思考力や人々と協働できるリーダーシップ、外国語や ICT を使いこなすコミュニケーション能力と情報を収集し分析する能力を身につけることができるよう学部共通基礎科目を開設する。
  - ・グローバルイシューを構成する諸課題を発見するため、多様な情報を収集し分析する能力、外国語や ICT を一層自在に駆使するコミュニケーション能力を身につけることができる学部共通発展科目を開設する。
  - ・グローバルイシューの解決に向けて他者と協働しつつリーダーシップを発揮する行動力を身につけることができるグローバル・スタディーズ・プログラム科目を開設する。
  - ・グローバルイシューを人間発達及び人間科学の観点から理解する能力を身につけることができる学科共通科目を開設する。
  - ・発達基礎、コミュニティ形成に関する中核的な専門知識を身につけることができる学科コア科目を開設する。
  - ・発達基礎、コミュニティ形成に関する発展的な専門知識を身につけることができる学科展開科目を開設する。

なお、これらの科目を実施するに当たり、講義、演習、実習等の授業形態に応じて、アクティブラーニングや体験型学修を適宜組み込み、少人数対話型教育を積極的に推進する。また、グローバル・スタディーズ・プログラムでは、海外研修とフィールド学修を組み合わせる。

学修成果の評価は、次の方法で行う。

- ・講義科目については、筆記試験、レポート、参加度等により、学修目標に即して多面的、包括的な方法で到達度を判定する。
- ・演習、実習科目等については、筆記試験、レポート、参加度、発表内容、実技等により、学修目標に即して多面的、包括的な方法で到達度を判定する。

## ・環境共生学科

神戸大学のカリキュラム・ポリシーにもとづき、国際人間科学部環境共生学科は以下の方針に則りカリキュラムを編成する。

1. 「人間性」「創造性」「国際性」を学生に身につけさせるため、すべての学生が履修する共通の科目として、基礎教養科目、総合教養科目、高度教養科目、外国語科目、初年次セミナー、キャリア科目、情報科目、健康・スポーツ科目及びその他必要と認める科目を開設する。
2. 深い学識を涵養し、「専門性」を学生に身につけさせるため、以下の専門科目を開設する(共通専門基礎科目及び学部が開設する高度教養科目を含む)。
  - ・グローバルイシューに対する批判的・合理的思考力や人々と協働できるリーダーシップ、外国語や ICT を使いこなすコミュニケーション能力と情報を収集し分析する能力を身につけることができるよう学部共通基礎科目を開設する。
  - ・グローバルイシューを構成する諸課題を発見するため、多様な情報を収集し分析する能力、外国語や ICT を一層自在に駆使するコミュニケーション能力を身につけることができる学部共通発展科目を開設する。
  - ・グローバルイシューの解決に向けて他者と協働しつつリーダーシップを発揮する行動力を身につけることができるグローバル・スタディーズ・プログラム科目を開設する。
  - ・環境基礎科学及び環境形成科学に関する基礎的な知識を身につけることができる共通専門基礎科目を開設する。
  - ・グローバルイシューを環境共生の観点から理解する能力を身につけることができる学科共通科目を開設する。
  - ・環境共生に関する課題を発見するために必要な中核的な専門的能力を身につけることができる学科コア科目を開設する。
  - ・環境共生に関する課題を解決するために必要な発展的な専門的能力を身につけることができる学科展開科目を開設する。

なお、これらの科目を実施するに当たり、講義、演習、実習等の授業形態に応じて、アクティブラーニングや体験型学修を適宜組み込み、少人数対話型教育を積極的に推進する。また、グローバル・スタディーズ・プログラムでは、海外研修とフィールド学修を組み合わせる。

学修成果の評価は、次の方法で行う。

- ・講義科目については、筆記試験、レポート、参加度等により、学修目標に即して多面的、包括的な方法で到達度を判定する。
- ・演習、実習科目等については、筆記試験、レポート、参加度、発表内容、実技等により、学修目標に即して多面的、包括的な方法で到達度を判定する。

## ・子ども教育学科

神戸大学のカリキュラム・ポリシーにもとづき、国際人間科学部子ども教育学科は以下の方針に則りカリキュラムを編成する。

1. 「人間性」「創造性」「国際性」を学生に身につけさせるため、すべての学生が履修する共通の科目として、基礎教養科目、総合教養科目、高度教養科目、外国語科目、初年次セミナー、キャリア科目、情報科目、健康・スポーツ科目及びその他必要と認める科目を開設する。
2. 深い学識を涵養し、「専門性」を学生に身につけさせるため、以下の専門科目を開設する(共通専門基礎科目及び学部が開設する高度教養科目を含む)。
  - ・グローバルイシューに対する批判的・合理的思考力や人々と協働できるリーダーシップ、外国語や ICT を使いこなすコミュニケーション能力と情報収集し分析する能力を身につけることができるよう学部共通基礎科目を開設する。
  - ・グローバルイシューを構成する諸課題を発見するため、多様な情報を収集し分析する能力、外国語や ICT を一層自在に駆使するコミュニケーション能力を身につけることができる学部共通発展科目を開設する。
  - ・グローバルイシューの解決に向けて他者と協働しつつリーダーシップを発揮する行動力を身につけることができるグローバル・スタディーズ・プログラム科目を開設する。
  - ・グローバルイシューを人間発達及び次世代育成の観点から理解する能力を身につけることができる学科共通科目を開設する。
  - ・学校教育学、乳幼児教育学に関する課題を発見するために必要な知識と中核的な専門的能力を身につけることができる学科コア科目を開設する。
  - ・学校教育学、乳幼児教育学に関する課題を解決するために必要な知識と発展的な専門的能力を身につけることができる学科展開科目を開設する。

なお、これらの科目を実施するに当たり、講義、演習、実習等の授業形態に応じて、アクティブラーニングや体験型学修を適宜組み込み、少人数対話型教育を積極的に推進する。また、グローバル・スタディーズ・プログラムでは、海外研修とフィールド学修を組み合わせる。

学修成果の評価は、次の方法で行う。

- ・講義科目については、筆記試験、レポート、参加度等により、学修目標に即して多面的、包括的な方法で到達度を判定する。
- ・演習、実習科目等については、筆記試験、レポート、参加度、発表内容、実技等により、学修目標に即して多面的、包括的な方法で到達度を判定する。

## ○学位:学士(教育学)

### ・子ども教育学科

神戸大学のカリキュラム・ポリシーにもとづき、国際人間科学部子ども教育学科は以下の方針に則りカリキュラムを編成する。

1. 「人間性」「創造性」「国際性」を学生に身につけさせるため、すべての学生が履修する共通の科目として、基礎教養科目、総合教養科目、高度教養科目、外国語科目、初年次セミナー、キャリア科目、情報科目、健康・スポーツ科目及びその他必要と認める科目を開設する。
2. 深い学識を涵養し、「専門性」を学生に身につけさせるため、以下の専門科目を開設する(共通専門基礎科目及び学部が開設する高度教養科目を含む)。
  - ・グローバルイシューに対する批判的・合理的思考力や人々と協働できるリーダーシップ、外国語や ICT を使いこなすコミュニケーション能力と情報を収集し分析する能力を身につけることができるよう学部共通基礎科目を開設する。
  - ・グローバルイシューを構成する諸課題を発見するため、多様な情報を収集し分析する能力、外国語や ICT を一層自在に駆使するコミュニケーション能力を身につけることができる学部共通発展科目を開設する。
  - ・グローバルイシューの解決に向けて他者と協働しつつリーダーシップを発揮する行動力を身につけることができるグローバル・スタディーズ・プログラム科目を開設する。
  - ・グローバルイシューを人間発達及び次世代育成の観点から理解する能力を身につけることができる学科共通科目を開設する。
  - ・学校教育学、乳幼児教育学に関する課題を発見するために必要な知識と中核的な専門的能力を身につけることができる学科コア科目を開設する。
  - ・学校教育学、乳幼児教育学に関する課題を、文化的多様性を尊重した実践的教育の観点から解決するために必要な知識と発展的な専門的能力を身につけることができる学科展開科目を開設する。

なお、これらの科目を実施するに当たり、講義、演習、実習等の授業形態に応じて、アクティブラーニングや体験型学修を適宜組み込み、少人数対話型教育を積極的に推進する。また、グローバル・スタディーズ・プログラムでは、海外研修とフィールド学修を組み合わせる。

学修成果の評価は、次の方法で行う。

- ・講義科目については、筆記試験、レポート、参加度等により、学修目標に即して多元的、包括的な方法で到達度を判定する。
- ・演習、実習科目等については、筆記試験、レポート、参加度、発表内容、実技等により、学修目標に即して多元的、包括的な方法で到達度を判定する。

カリキュラムマップ(グローバル文化学科)

		1年次				2年次				3年次				4年次				
		前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期		
		第1クォーター	第2クォーター	第3クォーター	第4クォーター	第1クォーター	第2クォーター	第3クォーター	第4クォーター	第1クォーター	第2クォーター	第3クォーター	第4クォーター	第1クォーター	第2クォーター	第3クォーター	第4クォーター	
人間性	自ら主体的に学修する態度とそれに必要な能力	情報基礎																
		健康・スポーツ科学実習基礎		健康・スポーツ科学実習1	健康・スポーツ科学実習2													
				健康・スポーツ科学講義A,B,C														
			キャリア科目	キャリア科目	キャリア科目	キャリア科目	キャリア科目	キャリア科目	キャリア科目									
創造性	複眼的に思考する能力		基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目	基礎教養科目							
国際性	異なる文化の人々と外国語で意思を通じ合える能力	外国語第I	外国語第I	外国語第I	外国語第I													
		外国語第II初級	外国語第II初級	Advanced English 外国語第II初級	Advanced English 外国語第II初級	Advanced English 外国語第II中級	Advanced English 外国語第II中級	Advanced English 外国語第III	Advanced English 外国語第III									
	文化、思想、価値観の多様性を受容するとともに、多分野にまたがる地球的課題を理解する能力		総合教養科目	総合教養科目	総合教養科目	総合教養科目	総合教養科目	総合教養科目	総合教養科目	総合教養科目	総合教養科目							
専門性	グローバルイシューに対する批判的・合理的思考力や人々と協働できるリーダーシップ、外国語やICTを使いこなすコミュニケーション能力と情報を収集し分析する能力	協働型リーダーシップ論	ソーシャルエンパワメント論	フィールドワーク基礎論	異文化間教育論													
		アジア共同体論1	アジア共同体論2	国際開発援助論(JICA)	コミュニティ創成論													
				情報リテラシー演習1	情報リテラシー演習2													
						情報発信演習1	情報発信演習2	プログラミング基礎演習1	プログラミング基礎演習2									
	グローバルイシューを構成する諸課題を発見するため、多様な情報を収集し分析する能力、外国語やICTを一層自在に駆使するコミュニケーション能力	国際コミュニケーション演習A	国際コミュニケーション演習B			Academic Communication (英)	Academic Writing (英)			English Presentation Skills	English for Professional Purposes							
											World Englishes							
				Test Preparation		Academic Communication (独)	Academic Writing (独)											
				Academic Skills		Academic Communication (仏)	Academic Writing (仏)											
						韓国語入門1	韓国語入門2											
						スペイン語入門1	スペイン語入門2											
						イタリア語入門1	イタリア語入門2											
						ラテン語入門1	ラテン語入門2											
						Cultures and Societies in Japan A	Cultures and Societies in Japan B											
						日本語コミュニケーション1	日本語コミュニケーション2											
					グローバル共生社会論	フィールドワーク方法論												
						ESD演習 I 1 (国際人間科学)	ESD演習 I 2 (国際人間科学)	ESD演習 II 1 (国際人間科学)	ESD演習 II 2 (国際人間科学)									
				外国語実習A														
		外国語実習B																
		フィールドワーク実習A																
		フィールドワーク実習B																
		インターンシップ実習A																
		インターンシップ実習B																
	グローバルイシューの解決に向けて他者と協働しつつリーダーシップを発揮する行動力	グローバルイシュー概論	グローバルイシュー演習															
		GSP演習(オリエンテーション)、留学型GSコース、GSP演習(リフレクション)																
		GSP演習(オリエンテーション)、実践型GSコース、GSP演習(リフレクション)																
		GSP演習(オリエンテーション)、研修型GSコース、GSP演習(リフレクション)																
グローバルイシューを異文化理解の観点から理解するために必要な基礎的知識及び外国語のコミュニケーション能力		言語情報コミュニケーション概論	異文化コミュニケーション概論						EUエキスパート人材養成プログラム特別講義									
		地域文化概論	情報科学概論			Lectures on Social Dynamics												
			現代文化システム概論			Lectures on Cultural Formations												
						Lectures on Global Communication												
			Oxbridge English Summer Camp 1							Oxbridge English Summer Camp 2								

					日欧比較セミナー I A	日欧比較セミナー I B	日欧比較セミナー II A	日欧比較セミナー II B	日欧比較セミナー III A	日欧比較セミナー III B							
					Aspects of EU Culture and Society (Lecture) A	Aspects of EU Culture and Society (Lecture) B	Aspects of EU Culture and Society (Seminar) A	Aspects of EU Culture and Society (Seminar) B									
地域文化、異文化コミュニケーション、現代文化システム、言語情報コミュニケーションに関する中核的な知識と専門的能力		日本社会文化論	東アジア政治社会論														
		環大西洋文化論	越境文化形成論														
		現代社会理論	近現代社会思想論														
		文化人類学	国際関係論														
			文化政策論														
			第二言語習得論														
			非言語コミュニケーション論														
			現代IT入門														
	地域文化に関する発展的な知識と専門的能力					日本メディア文化論	日本思想文化論										
						日本歴史文化論	日本文化交流論										
					北アジア歴史社会論	オセアニア社会文化論											
					東南アジア政治文化論	東南アジア社会文化論											
					アメリカ社会論	英米テキスト文化論											
					アメリカ文化論	宗教文化論											
					ヨーロッパ社会文化論												
					地域社会共生論	コミュニティと表象	社会調査法A	社会調査法B	メディア論								
						労働環境史											
					地域文化論基礎演習 I	地域文化論基礎演習 II	地域文化論発展演習 I	地域文化論発展演習 II	グローバル文化特別演習 I	グローバル文化特別演習 II							
地域文化・異文化コミュニケーションに関する発展的な知識と専門的能力					現代民族誌学	現代社会人類学											
					比較民族学	文化混交論											
					文化翻訳論	科学技術文明論											
					多文化政治社会論	比較文化論											
					比較政治社会論	越境社会文化論											
					公衆衛生学	比較政策論	社会調査法A	社会調査法B									
					環境経済学	平和構築論											
					地域社会共生論												
					異文化コミュニケーション論基礎演習 I	異文化コミュニケーション論基礎演習 II	異文化コミュニケーション論発展演習 I	異文化コミュニケーション論発展演習 II	グローバル文化特別演習 I	グローバル文化特別演習 II							
専門性																	

卒業研究 →

卒業研究 →





















